



避難所での感染症対策も 5月中に全戸配布

被害軽減へ新たな防災ガイド作成

◎防災ガイドの写真あり

市は、A4冊子版の「枚方市防災ガイド」(旧防災マップ)を6年ぶりに全面改訂した。令和2年に見直された船橋川、穂谷川、天野川(支川を含む)の浸水想定区域の変更を反映するとともに、本市で発生の可能性のある地震・河川はん濫(洪水)・内水はん濫(雨水管等からの溢水)・土砂災害に関する情報等を掲載。近年、市内でも局地的豪雨による被害が発生していることから、一人ひとりの防災の取り組みに役立つ記事を充実させ、今回新たに市広域版地図2枚を添付した。避難所での感染症対策も追記。5月中に市内約18万2000世帯へ全戸配布するのに先駆け、市ホームページで公開中。



★令和2年3月に、大阪府管理河川(船橋川、穂谷川、天野川)の浸水想定区域が更新されたことに伴い、現行の枚方市防災マップの内容を見直し令和3年5月中に全戸配布を行うもの(前回、平成27年の全戸配布から6年経過)。A4冊子版全121ページ、A1版地図付。

★地図は、これまでのエリア毎に複数の河川が表示されていた形式から個々の河川毎の表示に変更することで対象河川の浸水区域を詳しく確認でき、見やすさに配慮。製作は「NTTタウンページ(株)」

によるもので、指定の避難所や警察署、消防署、地域の交番や備蓄倉庫も併記し、より安全な避難経路を事前に確認できる。

★ハザードマップのほかにも、市内を走る生駒活断層帯の活断層や南海トラフ巨大地震の概略図、市が発信する防災情報の内容や伝達経路・情報の入手方法、いざという時の心構えなど、災害や防災に関するあらゆる情報を掲載。

★作成部数は転入者用も含め20万部。作成経費は2994万2000円。防災ガイドは5月中に配布する予定で、配布に先駆け市ホームページで公開中。

★市が防災マップを初めて作成したのは平成17年。市内を流れる河川(淀川、船橋川、穂谷川、天野川)がはん濫した際(洪水)の浸水範囲や水深、避難場所を示した地図を広げて見るタイプのものを全戸配布。以降、避難場所の変更など必要に応じ、一部改訂を

行いながら転入者や希望者に無料配布してきた。

★近年は全国的に記録的な大雨が多発し、市内でも被害が連続して発生。平成 24 年 8 月集中豪雨では 3500 件、25 年 9 月の台風接近による大雨では 1280 件が浸水。こうした状況を受け、平成 27 年の全面改訂には、地震・河川はん濫（洪水）に加え、内水はん濫（雨水管等からの溢水）や土砂災害も想定し防災マップを全面改訂している。

<お問い合わせ> 危機管理室 ☎072-841-1270